

■共通

Q. 前年度の事業収入は5000万未満ですが、寄付金と助成金をいれたら越えてしまします、その場合は対象外でしょうか？

⇒寄付金・助成金・非収益事業、収益事業などすべて含めて前年度5,000万円未満が対象となります。

Q. 現在、デジタルシステムを持っておりませんが、近い将来、自ら、こんなシステム開発をしたいと思ひまして、その為、法人スタッフのシステム研修に特化した申請は可能でしょうか？

⇒必ずそのシステムを導入し、使用するという保障があれば可能かと思ひますが、A助成プログラムでは、助成終了後も継続的に使用するものが前提になるので「導入したいと思ひている、導入するかもしれない」という不確定要素が多い場合は対象外になる可能性もあります。一方で、Bデジタル基盤強化プログラムでは、どのようなシステムがいいのかを団体の皆さまと一緒に検討していくものになりますので、これから考える段階であれば、Bデジタル基盤強化プログラムの申請をおススメします。

■ A 助成プログラム

Q. 委託業者との契約内容は開示義務があるのでしょうか？

⇒業務委託契約書の開示義務はございません。しかし、応募時には見積書及び委託作業内容が分かる資料（導入ソフトウェア、システム等の製品情報、リース契約情報を含む）の提出は必須となります。

Q. A助成プログラムについて：申請時に見積書や委託作業内容が分かる資料が必要ということですが、課題と解決方法がすでにそこそこ明確になっているものを想定しているプログラムということでしょうか

⇒はい、その通りです。A助成プログラムは、基本的には課題と解決方法がある程度明確になっているものを想定しております。一方、Bデジタル基盤強化プログラムは、デジタル人材と一緒に課題と解決方法を見出すために申請いただくことは可能です。課題はある程度みえているが、解決方法がわからない、もっと課題を深堀してデジタルをつかった解決を見出したいという場合はBデジタル基盤強化プログラムでの申請をおススメします。

Q. 委託できる業者のあてがない場合、相談に乗っていただけるのでしょうか

⇒大変申し訳ございませんが、業者の選定には対応はできません。しかし、やりたいことはなんとなくわかっているが具体的にどうしたらいいのか？どういう業者がいいのかなどを検討したいということであれば、Bデジタル基盤強化プログラムに申請いただき、デジタ

TIS×日本 NPO センター・TechSoup 協働事業
助成プログラム&デジタル基盤強化プログラム説明会 Q&A 概要

ル人材とともに考えるということは可能かと思えます。

Q. 課題取組コースで「予約システムの開発」及び基盤強化コースで「デジタル強化の研修会」の両方を申請も可能でしょうか？

⇒はい、A 助成プログラム内での2つの申請、A 助成プログラムと B デジタル基盤強化プログラムの両方に申請いただくことは可能です。ただし、採択は1つとなります。(複数申請すれば一つは必ず採択される保証はございませんので、ご了承ください)

Q. 予算の制限はありますか？

⇒A 助成プログラムは、1 申請あたり最大 300 万円となります。ただし、500 万円のシステム構築をするために、300 万円は助成金申請・200 万円は自己資金という形での申請は可能です。あくまでも助成額の上限が 300 万円となります。

Q. システム開発を依頼し、B デジタル基盤強化プログラムで必要な能力(A のシステム運用クラウド運用など)のコンサルと両用で申請は出来るのでしょうか？

⇒はい、こちらも申請は可能です。ただし、採択は1つとなります。(複数申請すれば一つは必ず採択される保証はございませんので、ご了承ください)

Q. 個人委託でもいいのでしょうか？

⇒はい、可能です。しかし、応募時には見積書及び委託作業内容が分かる資料(導入ソフトウェア、システム等の製品情報、リース契約情報を含む)の提出は必須となります。また、団体の役員や関係者の場合は、その人である理由が明確である必要がございますので、理由書のご提出もお願いいたします。

■ B デジタル基盤強化プログラム

Q. デジタル人材(IT 専門家)とはどういう方でしょうか？

⇒デジタル人材(IT 専門家)は、長年 IT 企業の現場で働いている方や、フリーランスや企業して IT 支援を専門とされている方々になります。

Q. デジタル人材は一人のみしかご依頼できないのでしょうか？

⇒デジタル人材は、チームで対応いたします。案件によっては団体に伺う人数が 1 名の場合もありますし、2 名で伺う場合もあります。また、B デジタル基盤強化プログラムに関しては、応募団体からデジタル人材を指名することはできません。

Q. デジタル人材はどれくらいの頻度で連絡が取れますか。来所は1回だけですか？

⇒メールやオンラインミーティングなど必要に応じて対応いたします。トライアルケー

TIS×日本 NPO センター・TechSoup 協働事業
助成プログラム&デジタル基盤強化プログラム説明会 Q&A 概要

スでは、取り組み開始時は週 1 回とかオンラインで打ち合わせを行い、さらにメールでのやりとりもございました。また、団体訪問は最低 1 回ですが、状況に応じてかつ対応できる範囲で 2 回以上訪問する場合がございますが、案件によってそれも変わりますので、ご了承ください。

Q. IT 専門家と一緒にシステムの開発は可能でしょうか？

⇒はい、まさに B デジタル基盤強化プログラムにピッタリな案件となりますので、ぜひ申請を検討してください。

Q. 組織の中で対応できるスキルを持つスタッフが、小さな子供がおり、基本的に平日夜や土日の対応ができません。その点は、審査で減点となるのでしょうか？

⇒平日夜や土日の対応は、あくまでも副業タイプのデジタル人材の場合であるため減点対象にはなりません。そもそも減点とか加点という形式ではありません。応募団体の状況・課題などを解決するために、どのスキルをもった人材が適しているのか？実現性はあるのか？という観点で選考し、人材をマッチングしますので、まずは申請されることをおすすめします。